



元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成24年02月27日 第551号「週刊五十嵐レポート」

ベトナム経済視察第3弾

2月21日(火)～2月24日(金)深夜、25日(土)早朝帰国で、ベトナム・ハノイ経済視察ツアー第3弾に行ってきました。

日本において、ベトナムへの進出は第3次ブームとなっています。昨年ベトナム政府が認可した日系企業のベトナム進出件数が過去最高。JETROのホーチミン・ハノイへの訪問が全世界において昨年10月は1位と2位との話。

実際にベトナム・ハノイへ行ってみると、不動産に関して下落傾向にあります。新規取得に対して融資ができないになっている状態です。過熱感はなくなっています。

今回もダイアン工場団地などを視察してきましたが、工場用地はベトナム全域に余っている状態です。進出したい企業にとっていくらでも選べる事ができます。買い手市場です。

一方、人を採用する方では、人材不足になっています。大企業が3,000人、5,000人規模で募集をかけていきますと中小企業が100人単位で募集をかけても集まらなくなります。土地は余っているが人が足りないということです。

今回は首都ハノイから100km離れている港町ハイフォンに行ってきました。ベトナム北部の最大の港です。ここから物資が陸揚げして北部の工場やハノイへ流通していきます。ここにいくつかの工場団地があります。そこで2人の日本人経営者と面談しました。2人とも自分以外はベトナム人。共通しているのは元商社マン。日本的経営で工場を運営しており、会社全体の業績に貢献しています。

日本人にとってベトナムはアウエー。孤軍奮闘の日本人経営者たち。こういう人が部下のベトナム人にも信頼が厚い。まさに戦場。ベトナムに来ると「元気」をもらいます。ビジネスチャンスである隙間も見えてきます。

ちょっと
気になる出来事

ベトナムに行くと、男と女ではどちらが働き者か？という問いに多くの日本人経営者は、「女性」と答えます。

日本人経営者の次の後継者は、日本人ではない場合、ベトナム人女性と多く指名します。

いつも泊まるホテルでもキーマンは女性です。

南の国は男は遊び人で女性は働き者と人はいいますが、本当のようです。

ベトナムの男性、女性とも手先が器用であることも事実。日本人でもできない技術があります。このあたりは今後の製造業にとって明るい材料です。

労働集約型では人件費の安い地域へ移っていきます。中国・台湾からベトナムへ、そしてカンボジア、ミャンマーなど。しかしベトナムで1人当りの生産性を高めて高収益を確保している企業もあります。トヨタ生産方式はベトナムでも生きています。



一口メモ
成功の秘訣

生き方を変える

プラスの習慣、趣味を育てよう
アイデアの種をまいて、行動を収穫しよう
行動の種をまいて、習慣を収穫しよう
習慣の種をまいて、評判を収穫しよう
評判の種をまいて、運命を収穫しよう
それがあなたの生き方を変える。

ロバート・シュラー著「いかにして自分の夢を実現するか」(三笠書房)

週刊五十嵐レポート 毎週月曜日発行

町コン経営塾「会社成功塾」 毎週日曜日、月曜日 午前10時～12時。

町コン・ランチェスタービジネスセミナー 毎月東京・大阪開催

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

